大台町
odai-town

記　者　発　表　資　料
令　和　8　年　9　月　16　日

# 令和8年度　大台町一斉防災訓練

南海トラフ地震を想定した早期避難所開設に向けた一斉防災訓練を開催します。
今回は、大台町で一斉防災訓練を初めて開催します。

1.日時

令和８年９月２７日（日）
午前９時から午前１１時（予定）

2.開催場所

町内各地（指定避難所35ヶ所）

3.参加（見込）人数

41自治会（おおよそ400名）

4.内容

各自で実施するシェイクアウト訓練、安否確認、および避難訓練に加え、
各地区の集会施設（指定避難所）に配備しているファーストミッション
ボックスを活用した「避難所開設訓練」を実施します。

5.主催者

大台町、各自治会（自主防災組織）

6.その他・特記事項

訓練場所は、各地区の指定避難所にて実施します。

7.連絡先

総務課　防災安全係
担当者　：　係長　中井　辰徳
電話番号　：　0598-82-3781

# 令和８年度　大台町一斉防災訓練実施要領

## 1. 目的

南海トラフ地震等の大規模災害発生時に備え、町民の防災意識の高揚を図るとともに、各自治会（自主防災組織）による「共助」の体制を確認します。

特に本年度は、新たに導入する「ファーストミッションボックス」を活用し、「誰でも・安全に・素早く」避難所を開設・運営する手順を実践形式で習得することを主目的とします。

## 2. 実施日時（予定）

**令和 8 年 9 月 27 日（日）　9:00～11:00**

※雨天決行（気象警報発表時は中止）

## 3. 想定災害

「南海トラフ地震」の発生

午前 9 時 00 分、町内全域で震度 6 強の揺れを観測。家屋倒壊や土砂災害の危険性が高まり、直ちに避難が必要な状況。

## 4. 訓練対象

町内全自治会（自主防災組織）及び地区住民

各現地対策班（非常体制）（日進・川添・三瀬谷・荻原・領内・大杉谷）

## 5. 訓練内容とタイムスケジュール

| 時刻 | 内容 | 詳細・行動指針 |
|---|---|---|
| 9:00 | 地震発生・<br>シェイクアウト（身を守る） | ・防災行政無線及び防災行政情報配信アプリ一斉配信。<br>・参加者は、各自その場で「まず低く、頭を守り、動かない」（シェイクアウト訓練）を実施し、身の安全を確保する。（3 分程度） |
| 9:05 | 安否・住宅確認・避難開始 | ・揺れが収まったと想定し、各自で住宅や家族の安否確認、更には近隣の安否確認（声かけ）を行う。<br>・一時避難場所へ集まり、各区で定められた指定避難所への移動を開始する。<br>※一時避難場所を設定していない場合は、直接、避難所へ向かうなど各地区の方針で対応してください。また、既に避難行 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 動の方針が決まっている場合は、その方針に基づき実施いただいて結構です。 |
| 9:30 | 避難所到着・開設訓練開始<br>★最重要ポイント<br><br>※この訓練の最終目的は、**ファーストミッションボックスを活用し避難所を開設するところまで**となります。内容については、各自治会で決定した方法により行ってください。<br>例）<br>・参加者全員でファーストミッションボックスの手順を確認<br>・自主防災組織の役員のみでファーストミッションボックスの手順を確認<br>・本番を想定して実践　など | ・避難所（町施設・公民館・集会所等）に到着。<br>・「ファーストミッションボックス」を取り出し、以下の手順を確認・実践する。<br>1. 安全確認：建物の外観・内部に危険がないかチェック<br>2. 解錠・入室：手順で解錠<br>3. 入室準備：ボックス内の手順書に基づき、施設内の確認清掃、備蓄品や備蓄資材等の確認準備<br>4. 受付設置：避難者名簿の準備、受付場所の設営<br>5. 開設が完了しましたら、防災行政無線（移動系）又は電話で開設時刻を各地区現地対策班へ報告<br>※避難場所を町施設（日進公民館、健康ふれあい会館、就業改善センター、真手地域総合センター、林業総合センター、領内地域防災コミュニティーセンター、大杉谷地域防災コミュニティーセンター、大杉谷地域総合センター）とする場合は、複数の自治会から参集しますので各地区現地区現地対策班への開設報告は、報告者を決定の上対応ください。 |
| 10:30 | 振り返り・意見交換 | ・手順通りに開設できたか、ボックスの中身で分かりにくい点はなかったか等を参加者で話し合う。<br>・備蓄品（水・食料）の賞味期限チェック等を併せて実施。 |
| 11:00 | 訓練終了・解散 | ・片付けを行い、解散。 |

【現地対策班の連絡先】

日進地区現地対策班　　0598-85-0211
川添地区現地対策班　　0598-83-2877
三瀬谷地区現地対策班　0598-82-3792（夜間・休日用）※今回の訓練のみ使用
荻原地区現地対策班　　0598-76-1711
領内地区現地対策班　　0598-77-2001
大杉谷地区現地対策班　0598-78-8383

6.「ファーストミッションボックス」訓練のポイント

今回は「ベテランが指示する」形式ではなく、「その場に居合わせた人が手順書を見て動く」ことを重視します。

POINT1：リーダー体験の推奨：役員以外の方（女性、若者、初めての方など）にも積極的にボックスを操作していただき、リーダー役を体験してください。

POINT2：「正解」より「気づき」：手順通りにできるかよりも、手順書の分かりにくさや「ここが分からない」といった気づきを発見することが大切です。

7. 町の支援体制

訓練当日は、各地区現地対策班の町職員が巡回します。

※町職員は訓練の見回りを行うのみで、指示・指導は行いません。

※時間の都合上、全ての訓練会場を回ることができない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

8. その他

【本訓練の重要ポイント】

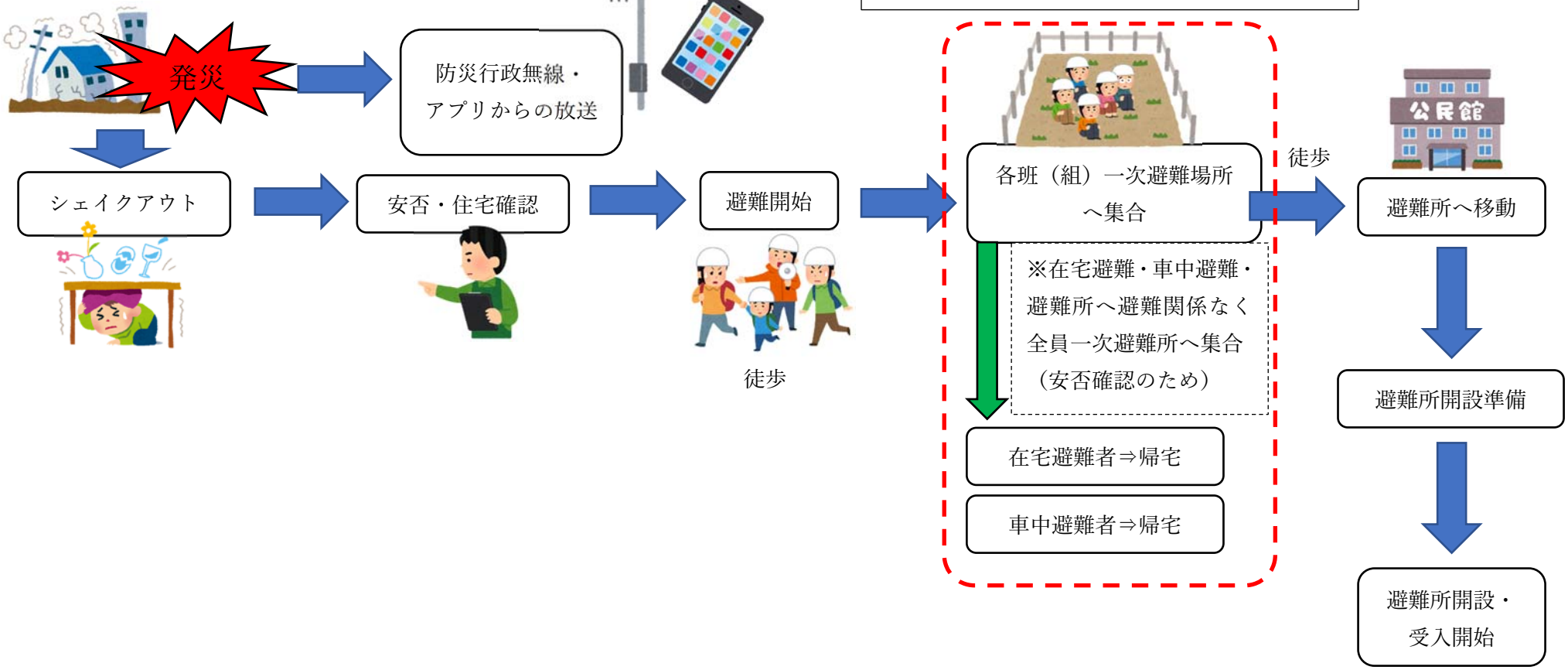
・完璧を目指さない：初めての試みですので、スムーズにできなくて当然です。「ファーストミッションボックス」を使って、たくさん「戸惑い」を経験しましょう。

・失敗から学ぶ：「手順書が分かりにくい」「鍵が開かない」といった気づきこそが、今回の訓練の最大の成果です。

・地区独自のスタイルへ：訓練で見つかった課題をベースに、各地区にとって「最も無理のない、安心な避難行動から避難所開設手順」を一緒に作り上げていきましょう。

注記：本訓練は手順確認を主目的としており、特定の個人に実際の避難所運営の全責任を負わせるものではありません。

## 【避難行動の例】


発災
防災行政無線・
アプリからの放送
シェイクアウト
安否・住宅確認
避難開始
徒歩
ここで、安否確認を行うため避難所へ行く人、在宅避難する人、車中泊する人を把握し、避難所へ行く人のみ、避難所へ向かう
各班（組）一次避難場所へ集合
※在宅避難・車中避難・避難所へ避難関係なく全員一次避難所へ集合（安否確認のため）
在宅避難者⇒帰宅
車中避難者⇒帰宅
徒歩
公民館
避難所へ移動
避難所開設準備
避難所開設・
受入開始